

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)リーフィアレジデンス開成Ⅱマンション計画	階数	地上7階
建設地	足柄上郡開成町吉田島4305	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域,工業地域	平均居住人員	200人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年10月7日
敷地面積	2,488 m ²	作成者	株式会社フジタ
建築面積	997 m ²	確認日	
延床面積	5,194 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 計画敷地の自然豊かな環境に配慮し、「山紫水明」をデザインコンセプトに、西側を望む足柄の山並みから、東側に面する酒匂川へと風景が連続するように、水平面を強調した立面デザインとした。外壁の配色は白色を基調とし、透明感のあるガラス手摺の構成とした。バルコニーの手摺には網入りの型板ガラスを採用し、建物全体に軽やかさを持たせると同時に、安全性とプライバシーを確保しながら居室へ十分な採光が行き渡るように配慮した。		その他 0
Q1 室内環境 生活音を抑え、快適なマンション暮らしに配慮する。室内の空気質を健全に保ち、居住者が快適に過ごすことができるよう配慮する。	Q2 サービス性能 高速インターネット採用による快適なIT環境とする。更新間隔の優れた建材や配管材を用い、建物の長寿命化を図る。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲のマンション群と調和するように色彩や配置計画に配慮した。エントランスは建物の出入口として認識しやすいように、大きな庇を設け、仕上材や館銘板等でデザイン的なポイントを持たせつつ、ヒューマンスケールを意識した構成とした。敷地内は可能な限り緑化し、良好な景観の作成し、暑熱環境緩和を図る計画とした。エントランスアプローチ部分には、シンボルツリーとしてヤマボウシを植樹することで、緑ある優しい景観を演出する計画とした。
LR1 エネルギー 省エネルギー性に配慮した設備機器としてLED照明設備及び潜熱回収型給湯器の導入予定。優れた断熱仕様による建物の熱負荷を緩和する(日本住宅性能表示基準 省エネルギー対策等級における等級4(取得予定))	LR2 資源・マテリアル 水栓及び便器は自動水栓などに加えて節水型便器を使用し、水資源の保護を図る。断熱材はノンフロン仕様とし、温暖化抑制を図る。	LR3 敷地外環境 光害に関して照明環境の配慮に欠けた使用や運用をする事が無いよう対策について検討した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される